令 和 ４ 年 度

事　業　報　告　書

公益財団法人　静岡県産業振興財団

目　　次

概　　要 …… 1

公１　産業創出支援 …… 3
　１　創業環境向上支援事業…… 3
　２　静岡発ベンチャー発掘・育成事業…… 4
　３　地域創生起業支援事業…… 6
　４　新成長産業戦略的育成事業…… 6
　５　医療機器産業基盤強化推進事業…… 10

公２　経営基盤強化 …… 11
　１　中小企業支援センター事業…… 11
　２　下請振興等事業…… 12
　３　企業参加型オンラインコミュニティ運用事業…… 14
　４　静岡ものづくり生産性向上推進人材育成事業…… 14
　５　中小企業ＩｏＴ活用促進事業 …… 15
　６　産業成長戦略推進事業 …… 16
　７　経営革新計画支援事業…… 17
　８　中小企業脱炭素化推進事業…… 17
　９　高度化資金貸付診断等事業…… 18
　10　事業承継支援事業…… 19
　11　設備貸与事業…… 19
　12　中小企業振興貸与事業…… 20
　13　設備資金貸付事業…… 20

公３　科学技術研究開発支援…… 21
　１　産学官技術交流促進事業…… 21
　２　地域ビジネス応援事業…… 22
　３　成長型中小企業等研究開発支援事業…… 23

公４　フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト…… 24
　１　フーズ・ヘルスケアプロジェクト推進事業…… 24
　２　高付加価値型食品等開発推進事業…… 26
　３　食品産業人材育成事業…… 27
　４　ヘルスケア産業振興事業…… 28

令和４年度　事業報告

自　令和 ４年 ４月 １日
至　令和 ５年 ３月 31 日

＜概要＞

令和４年度の本県中小企業が置かれた経営環境を概観すると、コロナ禍からの正常化に向けた取組が進んだ一方、半導体を中心とした部品の供給不足、燃料・資材の価格高騰、深刻な人手不足などの影響もあり、依然として厳しい状況が続いている。こうした経営環境の激変期を乗り越えるには、県内企業の人材投資、研究開発、設備投資を促して競合他社との差別化を図り、高い付加価値の創出や事業構造の新陳代謝につなげることが不可避と捉えている。

産業振興財団としては、こうした認識のもと静岡県と緊密に連携し、令和４年度事業として、人材育成、研究開発支援、設備投資支援、販路開拓など、各事業を精力的に展開し、中小企業の取組を後押しした。

主要事業について言及すると、２年目を迎えた大学発ベンチャー発掘・育成事業では、県内企業と大学とのマッチングを進めており、共同研究やベンチャー設立などの成果が上がりつつある。他方、研究開発助成では成長産業支援の中核として手厚い資金を投入してきたが、必ずしも高いパフォーマンスを得ておらず、制度運用面での見直しが必要と考えている。

下請企業振興では、発注先企業の開拓を目指して広域商談会の開催に注力し、新たに山梨県、神奈川県とそれぞれ商談会を開催した。金融機関や相手側の支援機関とも連携し、新規取引先の開拓につなげることができた。

新規事業では、令和４年度に立ち上げた企業脱炭素化支援センターとして、自治体や金融機関等の協力も得て、県内 11 か所で啓発セミナーを実施したほか、専門家や企業の担当者向けの本格的セミナーも開催し、事業活動の認知度向上に努めた。フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクトでは、ヘルスケア産業の育成事業に本格着手した。まずは、ヘルスケアに関心を持つ企業の参入を促す活動基盤の構築に取り組んだ。

以上、令和４年度は不透明な経済情勢に的確に対応しつつ、中核事業の深化と新規事業の成長を図りながら、ほぼ計画どおりに事業を実施し、一定の成果を上げることができた。

＜決算総括＞

令和４年度の経常収益は、公益目的事業及び法人会計合わせて 1,150,144 千円となり、前年度の 1,226,228 千円に対して 76,084 千円の減少となった。

経常費用は、1,151,447 千円で前年度の 1,241,080 千円に対して 89,633 千円の減少となった。

令和４年度の収益・費用の増減要因としては、収益では、成長型中小企業等研究開発支援事業の事業管理が１案件であったこと、新成長産業戦略的育成事業の助成金の助成率が変更となったこと等により前年度に比較して減少となった。費用においても成長型中小企業等研究開発支援事業、新成長産業戦略的育成事業に伴う経費支出などが減少した。

これらのことから、当期経常増減額は、マイナス 1,302 千円と、前年度に比べて 13,549 千円のプラスとなった。

当期経常外増減額は、630 千円と、前年度に比べて 3,710 千円減少した。

このため、当期経常増減額と当期経常外増減額を合わせた当期一般正味財産増減額は、マイナス 673 千円と、前年度のマイナス 10,512 千円に比べて 9,839 千円の改善となった。

令和４年度事業一覧（決算額）

Ⅰ 公益事業　1,132,698　　単位：千円

- 公１　産業創出支援　589,630
  - 創業支援
    - 1 創業環境向上支援事業　12,404
    - 2 静岡発ベンチャー発掘・育成事業　12,376
    - 3 地域創生起業支援事業　76,388
  - 新分野開拓
    - 4 新成長産業戦略的育成事業　261,012
    - 5 医療機器産業基盤強化推進事業　219,141
  - 共通　8,309
- 公２　経営基盤強化　309,528
  - 経営支援
    - 1 中小企業支援センター事業　98,128
    - 2 下請振興等事業　65,195
    - 3 企業参加型オンラインコミュニティ運用事業　6,429
    - 4 静岡ものづくり生産性向上推進人材育成事業　12,042
    - 5 中小企業ＩｏＴ活用促進事業　15,562
    - 6 産業成長戦略推進事業　5,275
    - 7 経営革新計画支援事業　22,661
    - 8 中小企業脱炭素化推進事業　36,038
  - 経営等診断
    - 9 高度化資金貸付診断等事業　18,582
    - 10 事業承継支援事業　519
  - 設備支援
    - 11 設備貸与事業　10,423
    - 12 中小企業振興貸与事業　−116
    - 13 設備資金貸付事業　1,274
  - 共通　17,516
- 公３　科学技術研究開発支援　70,226
  - 1 産学官技術交流促進事業　33,506
  - 2 地域ビジネス応援事業　11,802
  - 3 成長型中小企業等研究開発支援事業　20,460
  - 共通　4,458
- 公４　フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト　155,779
  - 1 フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト推進事業　89,391
  - 2 高付加価値型食品等開発推進事業　5,956
  - 3 食品産業人材育成事業　2,720
  - 4 ヘルスケア産業振興事業　48,396
  - 共通　9,316
- 公益目的共通　7,535

＊各事業に配賦することが困難な費用は、公益目的事業に関する会計の中で「共通」の会計区分を設けて管理。

Ⅰ 公益目的事業

※（　）内は、前年度正味財産増減計算書額
事業費　1,132,698 千円（1,212,270 千円）

公１ 産業創出支援

事業費　589,630 千円（629,621 千円）

○ 創業支援、ベンチャー創出
○ 新分野の開拓支援（成長分野への県内企業の参入支援）

創業者、新事業に挑戦する企業が直面する多様な経営課題への相談対応や、ベンチャー創出、新分野開拓支援など、新たな産業創出を支援する事業を行った。

１ 創業環境向上支援事業

事業費　12,403,929 円

創業検討者に対する相談対応及び創業者の事業立上げ後の経営サポートを行った。また、支援ノウハウなどの少ない市町等が行う創業支援事業をバックアップするなど、県内での創業環境の向上に努めた。

（１）創業者向け講習会、創業スキルアップサロン

創業者を対象に、事業計画の作成や磨き上げの講習会を開催した。これと合わせて創業者が抱える経営課題や事業計画等に対してメンター（先輩起業家）が助言を行った。

・開催回数 4 回（参加者の評価　平均満足度 4.6（5 点満点））

開催日	講習会	メンターサロン
R4. 9.12	テーマ ビジネスの成果と融資につながる効果的な創業計画書のつくりかた（第１回） ・講師 ㈱ハーモニーリンク代表取締役 馬込 正氏（中小企業診断士） ・参加者　6 人	メンター ・㈱ハーモニーリンク代表取締役 馬込 正氏（中小企業診断士） ・㈱ D-ZONE 代表取締役 土橋武司氏 ・参加者　5 人
R4.10.24	テーマ ビジネスの成果と融資につながる効果的な創業計画書のつくりかた（第２回） ・講師 ㈱ハーモニーリンク代表取締役 馬込 正氏（中小企業診断士） ・参加者　4 人	メンター ・㈱ハーモニーリンク代表取締役 馬込 正氏（中小企業診断士） ・㈱アスタワン代表取締役 久米幹夫氏 ・参加者　4 人
R4.11.21	テーマ ネットサービスを活用したビジネスのファンづくり ・講師 ㈱サイバー・アシスト代表取締役 吉村正裕氏 ・参加者　8 人	メンター ・㈱サイバー・アシスト代表取締役 吉村正裕氏 ・㈱はなか代表取締役 宮武弓佳氏 ・参加者　8 人
R4.12.15	テーマ 「人を雇う」と言うこと～雇用と人材育成、起業家にこそ重要な知識 ・講師 ㈱ミラクス代表取締役 村松秀雄氏（社会保険労務士） ・参加者　4 人	メンター ・㈱ミラクス代表取締役 村松秀雄氏（社会保険労務士） ・ハルソラ㈲代表社員 地口伊智子氏 ・参加者　4 人

（2）創業支援機関ネットワーク会議

創業支援機関相互の連携強化を目的に「創業支援機関ネットワーク会議」を開催した。

・開催回数 1 回（R5.3.24　オンライン開催）
参加者　63 機関、81 人
内容　国や県の創業関連施策の説明、事例報告（支援機関、創業者）

（3）創業支援担当者研修

各市町、商工団体、金融機関等の創業支援担当者を対象に、創業相談関連の知識習得を目的とした研修会を開催した。

・開催回数 4 回（参加者の評価　平均満足度 4.4（5 点満点））

開催日	テーマ	講師	参加者
R4. 9.13	はじめての創業支援　～創業に向けた心構え・手続き・お金の話～	中小企業診断士 竹島寿夫氏	11 人
R4.10.25	「きく」技術を身につける 聞く 聴く 訊く 傾聴の技術	ハルソラ㈲ 代表社員 地口伊智子氏	7 人
R4.11.22	ビジネスを成果に導く「創業計画書」の見かた伝えかた ～創業計画書から学ぶ支援の勘所～	㈱ハーモニーリンク代表取締役 馬込 正氏（中小企業診断士）	13 人
R4.12.16	いまさら聞けない「ICT」の話	ふじのくに ICT 人材育成プロデューサー 阪口瀬理奈氏	9 人

（4）市町等への個別支援

各市町等が開催するセミナーや創業相談会の実施に関する助言のほか、市町が主催するセミナーに産業財団職員を講師や相談員として派遣するなど、各市町の取組を支援した。

支援内容	件数
情報提供・情報交換等	35 件
具体的支援(講師派遣、個別相談対応等)	20 件
市町等の創業支援事業に対する助言(講師紹介等)	1 件
会議等	4 件
計	60 件

（5）創業施策情報提供

創業関連支援策に関する情報をホームページやメールマガジンで配信した。

・実施回数　メールマガジン配信　２回/月

２ 静岡発ベンチャー発掘・育成事業　　事業費　12,375,547 円

県内理系大学の高度技術や研究シーズを発掘して県内企業とのマッチングにつなげるなどして、次世代の経済成長を牽引する大学発ベンチャーの創出に取り組んだ。

（1）静岡県内大学発ベンチャー支援協議会の運営

大学発ベンチャーを創出するため、県と財団及び県内７大学関係者で構成する支援協議会を運営し、ベンチャー支援活動に関する大学間での情報共有を図った。

（2）コーディネーターによるマッチング支援、ラウンドテーブルの開催

コーディネーターを２人配置し、大学研究者と県内企業をつなぐマッチングを行った。
具体的には、県内企業を訪問して潜在ニーズを掘り起こし、それに相応しい大学研究者への橋渡しや、大学の研究シーズを分かりやすく翻訳して県内企業に情報として提供した。

また、コーディネーターの働き掛けで、**大学の研究者と県内企業が一同に会する「ラウンドテーブル」を開催**し、研究者のシーズ検証や意見交換を通じて両者のマッチングを行った。加えて、これを両者の学術指導や共同研究開発につなげる仕掛けとして、**共同研究等促進支援助成金で支援**した。

○ラウンドテーブル　開催回数 6 回

開催日	内　　容	参加者
R4. 9.12	テーマ 海底熟成酒の研究開発の試み 講師　東海大学海洋学部水産学科 後藤慶一教授	13 社 15 人
R4.10.17	テーマ プラズモニクスの光電子デバイス応用 ～金属ナノ構造で革新的光技術をもたらす～ 講師　静岡大学工学部電子物質科学科電子工学研究所 小野篤史教授	10 社 15 人
R4.11.10	テーマ AI 技術の進化がもたらす変化と備え 講師　沼津工業高等専門学校電子制御工学科 鄭 萬溶教授	12 社 13 人
R4.12. 5	テーマ 磁気機能性流体の紹介と応用技術への新展開 講師　静岡大学工学部機械工学科 本澤政明准教授	9 社 12 人
R5. 2.22	テーマ モバイルセンサーネットワークによるインフラ保全の高度化 講師　静岡大学工学部数理システム工学科 石原 進教授	12 社 18 人
R5. 3. 1	テーマ DS・AI を活用した地域の課題解決について 講師　静岡理工科大学情報学部コンピュータシステム学科 富樫 敦特任教授 テーマ 知能メカトロニクスで拓く未来 講師　静岡理工科大学理工学部機械工学科 飛田和輝教授	10 社 14 人

○共同研究等促進支援助成

・共同研究契約　1 件（助成額 227 千円）
・学術指導契約　1 件（助成額 174 千円）

（3）ベンチャーの発掘、育成支援

民間アクセラレーター（㈱リバネス）が行う、大学の研究者やベンチャーを発掘・育成する創業応援プログラムをバックアップし、同プログラムで構築するエコシステムに地域パートナーとして参画した。

○静岡テックプランター事業

静岡テックグランプリの開催（R4.11.26）

発表者　9 人（ファイナリスト）

・最優秀賞　Optical stiffness sensing lab（浜松医科大学）
　テーマ　光を使って硬さを測る新次元イメージング法開発
・静岡県内大学発ベンチャー支援協議会賞　TSUNAMI（静岡県立大学）
　テーマ　超小型衛星群で行う全球対応型早期津波予測システム

■ 静岡発ベンチャー発掘・育成事業（実績）

・マッチング　16 件
　うち、成立 6 件、検討中 10 件
　（共同研究契約 2 件、学術指導契約 2 件、その他 2 件）
・ベンチャー設立支援 7 件
　うち、会社設立 2 件、設立準備中 5 件

３ 地域創生起業支援事業　　事業費　76,388,468 円

地域の社会的課題をビジネスの手法で解決する起業を促すため、創業に係る事業費の一部を補助し、専門家による伴走支援を行った。

（1）起業支援金

○対象事業　地域課題の解決に資する社会的事業等
○対象分野　子育て支援、保健・医療・福祉、防災・減災、まちづくり等

（単位：千円）

	申請		交付決定		助成実績	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一次募集	59	97,920	26	50,383	22	39,295
二次募集	29	47,351	15	22,071	15	20,108
計	88	145,271	41	72,454	37	59,403

（2）伴走支援

創業者に中小企業診断士を派遣し、経営に関する相談対応を行った。
・実施回数　延べ 74 回

（3）セミナーの開催

創業者向けの経理基礎セミナーを開催した。（2 回に分けて開催）
・講師　　白鳥久美子税理士
・参加者　計 44 人

■ **過年度の採択者の状況（令和 3 年度の経営実績）**
・令和元年度　24 事業者
　売上計 約 4 億 8,100 万円、年度末従業員数　46 人
・令和 2 年度　36 事業者
　売上計 約 2 億 8,700 万円、年度末従業員数 128 人

４ 新成長産業戦略的育成事業　　事業費　261,012,497円

県が定める新たな成長分野（新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境技術関連、ＣＮＦ）への県内中小企業の参入を促すため、同分野に関する情報提供や啓発、技術支援、研究開発・試作品支援、事業化・販路開拓支援等に関する事業を行った。

（1）成長産業分野への参入促進（成長産業販路開拓事業）

分野	事業区分	事業内容
次世代自動車	展示会出展	○学生フォーミュラ日本大会2022に静岡県ブースを出展 ・R4.9.9・10、エコパスタジアム ・次世代自動車関連 4 社（他に名産品コーナー 1 団体）
医療･福祉機器	事業参入促進	○医工連携スタートアップ支援事業 ・医工連携関連アイディアの実現性を検証 ・採択 5社 ・はままつ医工連携拠点に委託
	展示会出展	○医工連携出会いのサロン ・第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会併設の展示会に出展 ・R4.11.4～6、岡山コンベンションセンター ・共同出展 5社 ・はままつ医工連携拠点に委託

分野	事業区分	事業内容
		○Medtec JAPAN 2022への共同出展 ・R4.4.20～22、東京ビッグサイト ・共同出展 10 社・2 団体
ロボット	人材育成	**○先進ものづくり人材の育成** ・小中高生を対象としたロボットプログラミング教室の開催等 ・R4.4.23～R5.2.24（全24回）、開催場所　沼津市、磐田市 ・参加者 延べ265人（沼津163人、磐田102人） ・ロボカップ事務局に委託
	セミナー	**○ロボット産業参入セミナー** ・R4.11.15、静岡県教育会館 ・参加者 43人 ・中部産業連盟に委託
	マッチング	**○㈱デンソーウェーブとのビジネスマッチング** ・同社によるニーズ説明会（R4.7.26（9.30まで録画配信）） 参加者 66人（オンデマンド135回以上視聴） ・申込 13社（15提案）うち、採択 9社（10提案） ・ミニ展示会（R4.11.10、デンソーウェーブ本社内） 参加企業 9 社、デンソーウェーブ関係者 62 人
航空宇宙	展示会出展	**○航空宇宙開発展への出展支援** ・R4.6.22～24、東京ビッグサイト ・出展企業 13 社 ・浜松商工会議所に委託
環境関連	マッチング	**○静岡県・浙江省環境プラットフォーム事業** ・県内環境技術関連企業調査 7企業、3団体の会員へのアンケートなど ・**ビジネスマッチング**（富士宮市、沼津市） 開催日 R4.9.27・28 参加　県内企業 3社、日本駐在中国企業 3社 ・静岡県環境資源協会に委託

（2）ＥＶ・自動運転化等技術革新対応促進事業

事業名	事業内容
コーディネーター配置	**○コーディネーター 2人配置** ・県内企業訪問 218件（うち新規 52件）
展示会出展	**○人とくるまのテクノロジー展2022への出展** ・R4.5.25～27、パシフィコ横浜 ・共同出展　6 社
マッチング	**○MaaS ビジネスマッチング交流会** ・開催日 R4.12.9、掛川市内 ・自動運転バス体験乗車（掛川駅前～掛川城間）、掛川市役所コントロールセンター見学 ・ワークショップ（大日本報徳社大講堂（掛川市）及びWeb配信） 講演　東京大学 伊藤昌毅准教授、静岡県未来まちづくり室 杉本直也氏 タジマモーターコーポレーション 安田憲太氏 ・参加者 体験乗車 31人、ワークショップ 106人(うちオンライン視聴44人)
データベース運営	**○中小製造メーカーの技術情報をとりまとめ、大手サプライヤー向け発信** ・冊子やホームページに掲載した企業情報の更新 ・掲載企業 57社、発行部数 300部

（3）静岡型航空産業育成事業

航空機産業への新規参入促進、受注活動の拡大や技術の高度化を図るとともに、ＭＲＯ（整備・修理・オーバーホール）関連産業の育成を図った。

<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業内容</th></tr>
<tr><td>中核人材育成</td><td>○航空宇宙産業の中核を担う人材の育成
・座学 R4.10～12 月 (7 回)、工場見学 R4.12.1、実習 R5.1.17・18
・見学 天龍エアロコンポーネント㈱、川崎重工業㈱ 岐阜工場
・実習 ポリテクカレッジ浜松
・受講者数 5 社 7 人
・浜松商工会議所に委託</td></tr>
<tr><td>航空機産業認証取得助成</td><td>○航空業界における国際規格等の認証取得への助成
・補助率 1/2（限度額 JISQ 9100(3,000千円)、Nadcap (5,000千円)
・期間 原則２か年計画
<table>
<tr><th>区分</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R 元</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th></tr>
<tr><td>指定件数</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td></tr>
<tr><td>認証取得件数</td><td>3</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>設備投資･高度人材育成事業費補助</td><td>○設備投資への助成
・補助率 1/2（限度額 15,000千円)、期間 1年以内
・助成件数 4件
・合計助成額 29,345千円
○高度人材育成
・補助率 1/2（限度額 1,000千円)、期間 1年以内
・助成件数 2件
・合計助成額 1,000千円</td></tr>
<tr><td>専門家によるマッチング</td><td>○専門家（重工 OB 等）による重工メーカーと県内企業のマッチング支援
・訪問件数 87 件、見積件数 575 件
契約実績 約 6 億 3,000 万円（SOLAE 企業(航空宇宙産業)14 社の合計）</td></tr>
<tr><td>次世代エアモビリティ産業への参入</td><td>・県内企業で構成する検討組織を立ち上げて次世代モビリティ産業への参入に係る課題を整理し、報告書として取りまとめた。
・令和 3 年から延べ 5 回開催（令和 4 年度は 3 回）</td></tr>
</table>

■ 展示会出展企業の商談状況（実績）

展示会名	出展企業	調査	成約件数	試作品依頼	見積等依頼	商談中	不成立
Medtec Japan2022	10 社	半年後	17	10	8	4	34
航空宇宙開発展	13 社	半年後	0	11	22	68	0
人とくるまのテクノロジー展 2022	6 社	半年後	2	3	7	2	11

（4）リーディング産業育成事業（助成事業）

新たな成長産業分野への参入を目指す中小企業等が実施する研究開発、試作品支援、事業化・販路開拓等に対して助成した。

○研究開発への助成

事業名	事業内容
産学官連携 研究開発助成 （産学官連携型）	○幅広く産業応用の可能性のある技術や新製品の実用化を目的に、大学や県内公設試験研究機関と連携して行う研究開発に対して助成した。 ・補助率 2/3（限度額 10,000千円(2年間で計20,000千円)） **・申請件数 13件、うち助成件数 6件、助成額 37,689千円**
中小企業 研究開発助成 （一般型）	○幅広く産業応用の可能性のある技術・新製品等の実用化を目的に行う研究開発に対して助成した。 ・補助率 2/3（限度額 5,000千円） **・申請件数 5件、うち助成件数 3件、助成額 11,659千円**
次世代自動車技術 革新対応促進助成 （産学官連携型）	○次世代自動車分野に関する技術や新製品の実用化を目的に、大学や県内公設試験研究機関と連携して行う研究開発に対して助成した。 ・補助率 2/3 **・申請件数 4件、うち助成件数 2件、助成額 11,195千円**
次世代自動車技術 革新対応促進助成 （一般型）	○次世代自動車分野に関する技術や新製品の実用化を目的に行う研究開発に対して助成した。 ・補助率 2/3 **・申請件数 5件、うち助成件数 4件、助成額 15,263千円**

○事業化への助成

事業名	事業内容
事業化推進助成 （一般型）	○成長分野限定の研究成果を事業化につなげるための更なる研究開発に対して助成した。 ・補助率 1/2（限度額 15,000千円(2年間で計22,500千円)） **・申請件数 8件、うち助成件数 6件、助成額 34,968千円**
先端企業育成プロジェクト事業化推進助成	○先端企業育成プロジェクト推進事業（県補助金）採択企業を対象に、事業化に向けた更なる研究開発に対して助成した。 ・補助率 1/2（限度額 15,000千円(2年間で計22,500千円)） **・助成件数 2件、助成額 6,170千円**
次世代自動車技術 革新対応促進助成 （事業化型）	○次世代自動車分野に関する研究成果を事業化するための取組に対して助成した。 ・補助率 1/2（限度額 15,000千円） **・申請件数 4件、うち助成件数 3件、助成額 26,866千円**
試作品開発助成 （次世代自動車）	○ＥＶ化や自動運転技術等に対応して、自社の技術力を広く情報発信するための試作品製作に対して助成した。 ・補助率 1/2（限度額 3,000千円）、期間 1年以内 **・申請件数 4件、うち助成件数 4件、助成額 6,024千円**

■ 補助金交付事業の現況（令和 4 年度調査（令和 3 年度の進捗状況））

区分	補助年度	補助件数	研究継続	中止・中断	上市	その他
研究開発助成	H30	4	1	2	0	1
	R1	16	11	2	1	2
	R2	8	7	1	0	0
事業化助成	H30	9	4	1	2	2
	R1	5	2	1	1	1
	R2	7	5	1	0	1

５ 医療機器産業基盤強化推進事業　　事業費　219,140,588千円

医療機器産業等の基盤強化に必要な初期投資とその後の事業化に向けた取組までを一貫支援し、県内中小企業の医療健康産業など「命を守る産業」への参入を後押しした。

事業名	事業内容
医療機器産業基盤強化推進事業	○医療健康産業参入に向けた初期投資と事業化までの一連の取組に対して助成した。 **・申請件数21件、うち助成件数21件、助成額 206,401千円** ○内訳 初期投資助成（1年目） ・補助率 2/3（限度額 20,000千円） ・助成件数 13件 研究開発・事業化助成（2、3年目） ・補助率 2/3（限度額 10,000千円） ・助成件数 8件

■ 補助金交付事業の現況（令和４年度調査（令和３年度の進捗状況））

区分	補助年度	補助件数	研究継続	中止・中断	上市	その他
医療機器等助成	R2	17	8	1	8	0

公２　経営基盤強化　　事業費　309,528 千円（283,111 千円）

○ 経営支援（中小企業支援センター運営、下請振興、中小企業の生産性向上等）
○ 中小企業脱炭素化推進
○ 経営等診断（地域経済牽引事業計画や経営革新計画の作成支援、高度化資金貸付診断）
○ 設備導入支援（設備貸与・振興貸与・設備資金貸付事業等の債権管理）

中小企業が抱える課題解決に向けた相談や専門家の派遣、経営革新等への取組に対する支援、下請中小企業への受注機会の提供、取引条件の改善支援等を行った。

１ 中小企業支援センター事業　　事業費　98,127,095 円

中小企業支援法に基づく中小企業支援センターとして、中小企業の経営上の課題、資金調達などの各種相談に対応した。

（１）他の支援機関との連携

情報交換や事業連携のため、県内支援機関等との連携会議を開催した。また、全国、ブロック単位、他県の支援機関が開催する会議への参加、人材交流や支援策調査を行った。

・県内支援機関等との情報交換・事業連携等会議の開催　１回
R4.7.19　参加　30 機関から 30 人
講演　「静岡県の中小企業における DX の現状と課題」阪口瀬里奈氏
情報提供　中小基盤機構、産業財団

（２）支援体制の整備

創業者や中小企業が抱える課題解決を支援する専門家の登録募集を行った。また、センターに事業担当職員を配置して、支援先企業の訪問、他支援機関と連携して新規支援先を発掘した。

・専門家の年度末登録者数　462 人
（年度当初登録 454 人、年度中新規登録 48 人、年度中更新による減 40 人）

（３）専門家の派遣

中小企業等が抱える課題を解決するため、派遣申請に基づいて登録専門家を派遣した。
また、ISO の認証取得を目指す企業に対し、長期（１企業 10 回予定）に専門家を派遣し、認証取得の支援を行った。

・補助率　派遣経費の 2/3（1/3 は企業負担）

区分	事業計画・ISO	労務管理	販路開拓	その他	合計
企業数（社）	174	41	105	67	387
派遣回数	830	191	488	324	1,833

（４）支援センター管理費事業（職員の育成）

中小企業支援に係る研修への派遣を通じ、職員の専門的知識・スキルを高め、相談体制の強化を図った。また、ISO を認証取得している又は認証取得しようとする中小企業や職員を対象に、ISO 内部監査員を育成する講座を開催した。

・ISO 講座開催　ISO 9001 コース　21 社、37 人

■ 専門家を利用した企業の満足度調査　※4、5 点の割合/5 点満点

態度、姿勢、話し方	96 %
助言等の内容	95 %
助言等の進め方	91 %

課題についての解決状況

課題を解決できた	26 %
課題を概ね解決できた。一部、残課題あり	72 %
次年度も専門家派遣を利用する意向	69 %

２ 下請振興等事業　　事業費　65,195,313 円

取引あっせんや商談会を開催して受注機会の拡大を図ったほか、発注先企業を対象とした講習会や窓口相談を通じて下請取引の適正化を図った。

（１）下請振興事業

①支援体制整備

取引あっせん事業の効率化を図るため、企業検索支援サイト「静岡県ものづくり企業ナビ」に掲載する企業数を充実させ、取引先開拓業務の円滑化を図った。このほか、全国・ブロック単位の会議に参加し、取引あっせんの広域化を図るための情報収集などを行った。

・「静岡県ものづくり企業ナビ」登録企業数　419 社

②窓口相談

下請取引に係る苦情相談対応を行ったほか、下請取引に係る法律相談日を設け、顧問弁護士による助言を行った。

・下請かけこみ寺相談員による相談件数

下請法関係		下請法以外	
受領拒否	1 件	債権回収	59 件
支払遅延	0 件	契約・取引	58 件
代金減額	3 件	損害賠償	8 件
返品	1 件	会社経営	0 件
買いたたき	27 件	その他	41 件
その他	50 件		
計	82 件	計	166 件

・顧問弁護士による無料法律相談日（原則、毎月第 2 月曜日×12 か月）

相談実績　契約・取引　3 件

③取引あっせん

県内外の大手・中堅企業 137 社を訪問し、103 件の新規発注案件を開拓した。
また、232 件のあっせん紹介等により、41 件の成立を支援した。

		令和 3 年度	令和 4 年度
登録企業数	発注企業	761	760
	受注企業	2,973	3,022
発注申出件数		86	103
（うち専門調査員）		29	23
受注申出件数		24	29
あっせん紹介件数		291	232
あっせん紹介結果	**成立**	**20**	**41**
	不成立	132	243
	折衝中	518	466
契約成立当初受注金額		9,847 千円	71,280 千円
発注開拓企業件数		64	137
（うち専門調査員）		34	108

④広域商談会

○山梨・静岡 連携ものづくり商談会　※実績は半年後調査による　（単位：千円）

開催日	開催場所	参加企業		商談件数	県内企業	
		発注企業	受注企業		商談成立件数	当初契約額
R4.8.4	アイメッセ (甲府市)	43社	115社 (県内63社)	416件	継続4件 スポット2件	933 7,370

○マッチングフェア in なごや（東海４県合同）　※実績は半年後調査による　（単位：千円）

開催日	開催場所	参加企業		商談件数	県内企業	
		発注企業	受注企業		商談成立件数	当初契約額
R4.10.6	ウインクあいち (名古屋市)	155社	435社 (県内63社)	対面 716件 WEB 165件	継続4件 スポット3件	2,530 170

○かながわ・しずおか広域商談会　（単位：千円）

開催日	開催場所	参加企業		商談件数	県内企業	
		発注企業	受注企業		商談成立件数	当初契約額
R5.2.22	秦野商工会議所 (秦野市)	42社	110社 (県内68社)	対面 147件 WEB 109件	―	―

⑤首都圏展示会への共同出展

大規模な集客が見込まれる首都圏の専門展示会に静岡県ブースとして共同出展した。

○第27回機械要素技術展　※実績は半年後調査による　（単位：千円）

開催期日	開催場所	出展者数	見積依頼件数	商談成立件数	当初契約額
R4.6.22～24	東京ビッグサイト	16社	48件	13件	8,145

※前年度実施分（第26回機械要素技術展）　※実績は１年後調査による　（単位：千円）

開催期日	開催場所	出展者数	見積依頼件数	商談成立件数	当初契約額
R4.3.16～18	東京ビッグサイト	9社 (12社※)	28件	4件	1,933

※新型コロナウイルスの影響で出展を見合わせた企業3社

⑥下請取引適正化講習会開催

親事業者及び下請事業者を対象に、下請中小企業振興法及び下請代金支払遅延等防止法についての講習会をオンライン併用で開催した。

・R4.7.22開催　講師 公正取引委員会中部事務所　151社 202人（うち会場30人）

（２）情報支援事業

①支援体制円滑化

ホームページの活用による情報提供とともに、各種施策についてメールマガジンの発行、相談窓口において経営資料の提供・閲覧・視聴覚教材（DVD）の貸出等を行った。

・ホームページへのアクセス数　80,166回
・メールマガジンの発行　24回（月2回）　延べ51,461 人（ 2,144人/回）
・DVDの貸出　36件　132本

②窓口等相談

相談窓口に情報相談員を配置するとともに、情報資料の閲覧、視聴覚ビデオの貸出等を行った。また、毎週水曜日、静岡県中小企業診断士協会との連携に基づいて派遣された中小企業診断士を相談窓口に配置し、創業や経営相談に対応した。

・窓口相談件数　（単位：件）

取引相談	経営全般	資金調達	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ	法律・労務・税務	技術	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝ	事業提携・会社設立	省エネISO	特許	その他	合計
517	69	229	234	265	277	187	15	3	17	530	2,343

３ 企業参加型オンラインコミュニティ運用事業　　事業費　6,429,234 円

新事業に取り組もうとする企業に対し、国や県などの支援情報を一元的に提供するとともに、双方向による相談・交流が可能な企業参加型オンラインコミュニティを運営した。

・コミュニティ登録者数　834 人
・ランディングページ（LP）支援情報データベース掲載数 254 件、アクセス数 41,397 回
・コミュニティサイトアクセス数　154,840 回

４ 静岡ものづくり生産性向上推進人材育成事業　　事業費　12,042,332 円

製造現場改善活動（品質向上、コスト低減、納期短縮等）を推進する企業内リーダーを養成する「静岡ものづくり生産性向上推進リーダー育成スクール」を開催した。

○スクールの概要

・期間　全18回（R4.8.26～11.25）
・受講者数　17人（企業現役13人、講師候補者 4人）（受講料 20万円/人）
　共催　中部４商工会議所（静岡、焼津、藤枝、島田）、県商工会連合会、県中小企業団体中央会

○座学

・東京大学大学院 藤本隆宏教授の「生産マネジメント理論」を基礎に「良い設計の良い流れ」づくりを目指す、現場改善手法や現場管理手法等の理論を学習した。
・講師陣　國方、仲田、山本、小楠、柴田、飯田、髙橋、須山

回数	日程	内容
1	R4. 8.26	ものづくり基礎概念、改善事例紹介
2	R4. 9. 2	生産性向上、現場の見方、生産管理、在庫管理
3	R4. 9. 9	VSM の基礎、VSM 作成演習
4	R4. 9.16	作業の流れを良くするレイアウト、良い流れを作る品質管理、良い流れを作る生産
5	R4. 9.22	現場分析、IE、動作経済の原則
6	R4. 9.30	標準３票、分析手法、一品生産の工程管理、リーダー・リーダーシップ
7	R4.10. 7	IoT,ロボット導入ポイントと導入事例、IoT 機器を使った作業時間の見える化、AI 導入事例と導入ポイント、IoT 機器の導入事例
8	R4.10.14	5S・5 定、現場改善実習の進め方

○現場実習、成果発表

・現場実習　県中部の製造業 3 社
・内容　受講者を 3 グループに分け、中小製造業 3 社の現場で工程分析や作業分析を行うことで、現場改善手法を習得した。
・講師　仲田、山本、髙橋

回数	日　程	内　容
9	R4.10.20	経営者との打合せ、現場の確認、全体計画、目標の策定
10	R4.10.21	現場改善実習 「モノと情報の流れ図」の作成、ビデオ動作解析、現場担当者へのヒアリング、レイアウトの見直し、改善の実践　等
11	R4.10.27	
12	R4.10.28	
13	R4.11. 4	
14	R4.11.10	
15	R4.11.11	
16	R4.11.17	
17	R4.11.18	チーム改善提案（実習先企業）
18	R4.11.25	チーム改善発表（静岡県産業経済会館）

○現場実習先で想定される改善成果

Ａ社（制御盤組立）

・改善実施項目　顧客要求納期に合わせた最適生産計画立案、リードタイム短縮

・想定される改善効果　リードタイム 2～6日短縮

Ｂ社（家電部品成形・組立）

・改善実施項目　レイアウト見直し、作業環境改善

・想定される改善効果　作業人工 7 人→4 人（閑散期）、リードタイム　-17 秒/個（閑散期）
繁忙期は人員増でフレキシブル対応可能

Ｃ社（建築金物の板金、塗装）

・改善実施項目　工程能力の改善、日程管理の見える化、レイアウト見直しによる動線短縮

・想定される改善効果　生産性向上 120%、工程会議 67%短縮、動線 38%削減、
フォークリフト使用時間 -2 時間/日

○企業内ミニスクール

・実施企業 3社（内容は企業の要望に対応）

・従業員全員に5Ｓ5定を基礎内容から実施

・「改善」について基本から学び、実践、検証まで実施

・5Ｓ5定を3グループに各１回実施

○静岡県サービス産業事業者向け生産性向上セミナー（オンライン）

開催日	内容	参加者
R4.12. 5	○セミナー　「企業のケースに学び稼ぐ力をつける」 ・優良事例発表（静岡県サービス産業活性化支援事業を活用の３社） ・サービス事業者向け支援ネットワークの説明（関東経済産業局） ・支援策紹介（産業振興財団）	35人
R5. 2. 7	○講演　㈱サイバー・アシスト 代表取締役社長 吉村正裕氏 ・「中小サービス業が生産性を上げるための７つのポイント」	26人

５ 中小企業ＩｏＴ活用促進事業　　事業費　15,561,612 円

(1)IoT 大学連携講座

産学官連携の組織である「静岡県 IoT 導入推進コンソーシアム」を中核に、静岡大学、県工業技術研究所と連携して講座と IoT 実践演習を行った。また、専門家のサポートの下、演習で利用した IoT 機器を自社の製造現場に導入した。

○IoT 大学連携講座

区分	項目	内容
第 1 部	技術知識講座 （WEB 開催）	○IoT 環境構築のための技術知識講座 ・開催　R4.5.11 ・講師　静岡大学情報学部　峰野博史教授 ・内容　IoT とは？、IoT システム開発の概要、IoT システム運用に求められる機能とスキル、IoT システム開発ノウハウ紹介
第 2 部	現場実装講座	○わかりやすい IoT を用いた現場実装講座 ・静岡会場　10 社（県工業技術研究所） 実習　R4.6.7、現場実装　6/中旬～9/上旬　発表会　R4.8.23 ・浜松会場　10 社（浜松工業技術支援センター） 実習　R4.8.29、現場実装　9/上旬～11/中旬 発表会　R4.11.22 ・沼津会場　10 社　（沼津工業技術支援センター） 実習　R4.11.29、現場実装　12/上旬～2/中旬 発表会　R5.2.21

区分	項目	内容
	IoT サポート専門家の支援	○IoT 専門家による実習・現場実装のサポート ・㈱叢雲堂 池谷隆典　サポート企業　6 社 ・Re-CreSor Labo 北野幹夫　サポート企業　4 社 ・Japan IT produce 長谷川徹　サポート企業　4 社 ・名倉 IT 経営研究所 名倉真史　サポート企業　7 社 ・Ichikawa IT Produce 市川直　サポート企業　3 社 ・愛和システムソリューションズ 和栗正昭　サポート企業　2 社 ・その他、令和 2、3 年度「IoT 大学連携講座」の参加企業のうち継続支援を望む企業を支援した。　計 5 社

（2）ふじのくに ICT 人材育成プロデューサー事業

ICT 人材育成に関する施策の立案・調査や、ICT に関する企業の技術力向上を図るため、ICT 人材の確保、育成を総合的に推進するプロデューサー１人を配置した。

・ICT 活用、DX 等の動向調査
・県が実施する DX 関連講座の企画・運営
・若手層向けの取組支援（ジュニアプロコンなど）

６ 産業成長戦略推進事業　　事業費　5,274,720円

（1）販売戦略構築支援

○販売戦略サポート委員会

販路開拓等に課題を抱える中小企業に対し、外部の専門家 4 人が経営者や事業責任者に対して、製品づくりや販路開拓に関する実践的な助言を行う委員会を開催した。

開催日	出席企業	製品等
R4. 5.17	㈱ディ・エッチ・エー・マリンフーズ（静岡市）	まぐろバー「TUNA PLUS＋」
	㈱ドリーム・フーズ（牧之原市）	ドリンクトッピング GODDESS
R4. 9.29	㈱プランツ（浜松市）	「てぶらで墓参り」
R4.12.16	㈱エイディーディー（沼津市）	クライオバスセラピー
R5. 2.10	ナイトー工業㈱（浜松市）	簡単 DIY アウトドア風呂「てんぐの小風呂」
	㈱辻工務店（藤枝市）	ターンテーブル搭載バイクガレージ
R5. 3.20	山幸建設㈱（三島市）	建設業向けマッチングアプリ「建設 net」
	㈱季咲亭（静岡市）	静岡めんま

○大手企業の技術ニーズと県内企業の技術シーズのマッチング支援

技術ニーズを有する大手企業と、課題解決に向けた技術シーズを有する県内企業とのマッチング事業を実施した。

大手企業	結果
大成建設㈱	・技術ニーズ説明会（R4.10.14） ・県内企業 10 社から 11 件を提案したところ、全提案について大成建設が個別面談を実施
中部電力㈱	・技術ニーズ説明会（R4.12.8） ・県内企業 12 社から 16 件を提案したところ、7 社 11 件について中部電力が個別面談を実施
㈱リコー	・技術ニーズ説明会（R5.3.7） ・22 社・4 団体から 32 人が出席

（2）地域経済牽引企業の創出

地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、高い経済的波及効果を及ぼす「地域経済牽引事業」の計画を策定しようとする企業に対し、中小企業診断士等を派遣し、計画の作成支援や地域未来投資促進法の支援策（地域未来投資促進税制等）の活用に関する助言を行った。

・専門家や財団職員の派遣　4 社

協和工業㈱（湖西市）、㈱コーヨー化成（富士市）、羽立工業㈱（湖西市）、㈱FOREST CYCLE（小山町）

7 経営革新計画支援事業　　事業費　22,661,451 円

中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の承認申請等に関する相談・受付及び調査を行った。また、中小企業の経営革新の促進を図るため、地域中小企業支援センターと連携して普及・啓発や相談・助言等を行った。そのほか、承認企業の実施状況調査分析を行い計画実現に向けた助言、必要に応じた支援を実施した。

・計画策定支援（変更を含む）　127 件
・補助金申請書類の作成支援　　68 件

8 中小企業脱炭素化推進事業　　事業費 34,999,756 円

産業財団内に「企業脱炭素化支援センター」を立ち上げ、ワンストップ相談窓口を開設した。また、中小企業向け啓発活動、人材育成を行った。

（1）企業脱炭素化支援センターの運営

県内企業の脱炭素化を推進するプラットフォーム「企業脱炭素化支援センター」を運営した。また、本センターに相談対応を担う業務アドバイザーを配置しワンストップ相談窓口を設置した。

・業務アドバイザー（中小企業診断士 3 人、技術士 1 人）4 人配置
・相談件数 161 件

（2）静岡県企業脱炭素化推進フォーラムの運営

脱炭素化に向けた産学官金の連携体制で、脱炭素化に関する各種情報を共有する会員組織「静岡県企業脱炭素化推進フォーラム」を設置、運営した。（R4.6.15 設置）

・会員数　605 人
・オンライン交流サイト「しずおか産業創造プラットフォーム」に会員限定のトークルームを開設し、国の政策動向や会員が有する商品などの情報を共有した。

○普及啓発セミナー

関係団体の協力を得て、脱炭素化に対する意識醸成や基本的知識の提供を目的としたセミナーを開催した。

・年 11 回開催　延べ 270 人参加（R4.9 月～R5.2 月）
・開催協力団体　市町　島田市、富士市、磐田市、三島市
　金融機関　島田掛川信用金庫、静清信用金庫
　商工団体　沼津商工会議所
　その他　支援機関、中小企業診断士協会 2 回、静岡経済同友会

○静岡県企業脱炭素化推進セミナー

脱炭素の最新動向に関する講演や、脱炭素化の取組をサポートする企業等の展示相談ブースを設置したイベントを開催した。

・第 1 回（R4.7.29、ホテルグランヒルズ静岡）
・参加者　会場参加 100 人、オンライン参加 150 人
・講演　カーボンニュートラル社会への転換－現状と課題
　国際環境経済研究所 理事 竹内純子氏
・その他　企業脱炭素化支援センターの紹介、国や県の支援施策の説明

・第 2 回（R5.3.14、ホテルグランヒルズ静岡）
・参加者　153 人（会場のみ）
・講演　県内中小企業の脱炭素化への取組実態と評価
　静岡大学サステナビリティセンター　水谷洋一教授
・説明　カーボンニュートラルに向けた「Jークレジット」制度の活用
　経済産業省環境経済室 北原由紀子室長補佐
・その他　県支援施策の説明

・相談ブース　電力・エネルギー関連4社、静岡大学

（3）人材育成セミナーの実施

○専門家向け　中小企業診断士、技術士、エネルギー管理士等の専門家を対象に、今後増加が予想される専門的な相談に対応できるよう、3回シリーズのセミナーを開催した。

開催日	第1回R4.10. 3　　第2回R4.10.11　　第3回R4.10.31
内容	第1回　脱炭素社会は企業をどう変えるのか 第2回　自社の「脱炭素」計画を作成する 第3回　脱炭素に資するエネルギー対策の実践方法とその効果
受講者	中小企業診断士、技術士等　18人（募集定員10人）

○企業向け　企業内のリーダー育成を目的に3回シリーズのセミナーを開催した。

開催日	第1回R4.10.24　　第2回R4.11. 2　　第3回R4.11.11
内容	第1回　脱炭素社会は企業をどう変えるのか 第2回　自社の「脱炭素」計画を作成する 第3回　脱炭素に資するエネルギー対策の実践方法とその効果
受講者	企業の代表者や現場責任者等　46人（募集定員40人）

（4）脱炭素化取組へのサポートに係る調査等

○中小企業の脱炭素化への取組に係る実態調査

・調査期間　　R4.11.4～11.30
・調査対象　　静岡県内に事業所を有する中小企業（1次産業を除く）2,200社
・有効回答数　659社（有効回答率30%）

○中小企業脱炭素化・省エネ事例集の作成

実態調査回答企業など、先進事例として参考となり得る10社を選定し、その取組を事例集としてまとめた。同事例集は、県内市町、金融機関、産業支援機関等に配布した。

9 高度化資金貸付診断等事業

事業費　18,581,918円

中小企業者が工場団地や共同店舗等を建設する高度化事業に対して、県からの委託に基づいて経営診断や助言を行った。

（1）高度化資金貸付制度の概要

・貸付期間　20年以内（うち据置期間3年以内）
・貸付利率　 4年度 0.40%
・貸付割合　貸付対象経費の80%以内
・貸 付 先　事業協同組合、街づくり会社（三セク）等

（2） 高度化診断業務の概要

○診断件数

区分	実績	内容
新規貸付診断	2	・新規貸付の際の事業計画の妥当性判断や助言を行うための診断
条件変更診断	4	・既往貸付金の償還猶予に伴う経営改善計画の妥当性判断や助言を行うための診断
フォローアップ診断	26	・貸付から1事業年度経過後の投資効果の確認のための診断 ・条件変更診断後の事後助言（フォローアップ）
対象診断	―	・高度化事業への参加を希望する企業等に対する個別経営診断
計	32	

○成績定期調査件数

区分	実績	内容
財務分析	50	・高度化団地等へ進出している企業の財務分析

10 事業承継支援事業　　事業費　519,230円

（1）M＆A技術評価支援事業

静岡県事業承継・引継ぎ支援センターが行うM＆Aやマッチング支援を後押しするため、同センターに相談のあった売り希望企業の技術的価値を可視化し、マッチング候補先の選定に資するための技術評価を行った。

・派遣先　4社
・派遣した技術士　4人（金属部門、電気電子部門、金属部門、建設・環境部門）

11 設備貸与事業　　事業費　10,423,328円

小規模企業者等（原則として従業員20人以下）及び創業者を対象に、設備を割賦販売及びリースする事業を行ってきたが、平成26年度末で小規模企業者等設備導入資金助成法が廃止され、新規の貸与を終了した。その後は、既貸与先のフォローと債権回収を行った。

（1）正常債権

令和３年度に完済済みであり、残高はない。

（2）延納・滞納債権（未収額）

（単位：千円）

項目	R3末残		R4末残	
	件数	金額	件数	金額
割賦	2件	17,158	2件	16,465
リース	0件	0	0件	0
計	2件	17,158	2件	16,465

※割賦は設備相当額、リースはリース料を記載

（3）損害賠償債権（契約解除案件）

（単位：千円）

項目		R3末 不良債権残	R4年度回収等				R4末 不良債権残
			発生	回収完済	一部回収	償却	
件数	割賦	2件	0件	0件	(1)件	0件	2件
	リース	1件	0件	0件	(0)件	0件	1件
	計	3件	0件	0件	(1)件	0件	3件
金額	割賦	13,089	0	0	2,400	0	10,689
	リース	20,020	0	0	0	0	20,020
	計	33,109	0	0	2,400	0	30,709

（4）割賦未収金債権（契約解除案件）

令和3年度に完済済となり、残高はない。

12 中小企業振興貸与事業　　事業費　△115,969 円

上記の設備貸与事業の補完として、中規模中小企業者等を対象に事業を行ってきたが、平成 15 年度に新規貸与を終了した。正常債権回収は平成 21 年度に、不良債権回収は令和 4 年度に終了した。事業終了による処理を行った。

（1）損害賠償債権（契約解除案件）

（単位：千円）

項目	R3 末 不良債権残	R4 年度回収等				R4 末 不良債権残
		発生	回収完済	一部回収	償却	
件数	1 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件
金額	1,199	0	1,199	0	0	0

13 設備資金貸付事業　　事業費　1,274,201 円

小規模企業者等（原則として従業員 20 人以下）等及び創業者を対象に、設備導入に係る資金を貸し付ける事業を行ってきたが、平成 26 年度末で小規模企業者等設備導入資金助成法が廃止され、新規の貸付を終了した。その後は、既貸付先のフォローと債権回収を行った。

（1）正常債権（償還金）

（単位：千円）

項目	R3 末残		R4 末残	
	件数	金額	件数	金額
資金貸付	1 件	1,180	1 件	472

（2）延納・滞納債権（未収額）

（単位：千円）

項目	R3 末残		R4 末残	
	件数	金額	件数	金額
資金貸付	0 件	0	0 件	0

（3）損害賠償債権（契約解除案件）

（単位：千円）

項目	R3 末 不良債権残	R4 年度回収等				R4 末 不良債権残
		発生	回収完済	一部回収	償却	
件数	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
金額	0	0	0	0	0	0

公３　科学技術研究開発支援　　事業費 70,226 千円（116,109 千円）

○ 産学官連携や知財活用による新技術・新製品開発への支援
○ 地域資源を活用した新商品やサービスの事業化、販路開拓の支援
○ 成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）の事業管理機関受託

県内企業等が行う新技術・新製品開発等への支援、企業の技術ニーズと大学等の研究シーズのマッチングや産学官交流促進等、県内産業の科学技術研究開発を支援する事業を行った。

１ 産学官技術交流促進事業　　事業費　33,505,479 円

中小企業の技術的課題解決や事業化、企業ニーズと大学等の研究シーズの橋渡し、中小企業支援施策等の活用相談を行うため、技術コーディネーターを配置した。また、県内の各支援機関等を有機的に結びつける産学官連携体制の充実を図った。このほか、知的財産等の技術シーズの中小企業での利用促進や、海外展開を計画している中小企業等に対する外国出願を支援した。

（１）技術コーディネーターの配置

研究開発支援、産学連携、知財に関するコーディネーターを配置し、助成対象事業の事業化に向けた支援、技術相談への対応、県試験研究機関や県内大学の技術シーズの橋渡しを行った。

・中小企業の技術課題等に対する相談対応　328 件

（２）静岡県知的財産活用研究会の運営

大学、研究機関、大手企業が保有する知的財産等の技術シーズの県内中小企業での利用促進を図る目的で「静岡県知的財産活用研究会」を運営し、情報提供、マッチング会、研修会を実施した。

・会員数　183 社

○知的財産マッチング会

	マッチング会	開催日	内容
1	トクラス㈱	R4. 7.26	・シーズ提供 トクラス㈱ ・個別相談 4 社（うち継続案件 2 社）
2	産業技術の芽シーズ発表会 in 静岡	R4.12. 7	・シーズ提供 中部大学、豊橋技術科学大学、㈱エフ・シー・シー ・個別相談 3 社
3	㈱リコー	R5. 3. 8	・シーズ提供 ㈱リコー ・個別相談　4 社（うち継続案件 1 社）

○セミナー情報の提供　知財に関する研修、セミナー情報を提供した。（INPIT セミナーなど）

（３）知的財産を活用した大学との連携

大手企業等が保有する開放特許等の技術シーズを活用した県内大学生によるビジネスアイデア大会を金融機関と連携して開催するとともに、中小企業とのマッチングを行い、その事業化を後押しした。

・第 7 回知財活用アイデアプレゼン大会（R4.11.15 開催）
会場　静清信用金庫 草薙支店 2F 研修センター
最優秀賞 静岡大学、優秀賞 静岡県立大学・静岡文化芸術大学、審査員特別賞 静岡県立大学

（４）事業プロデューサーの配置

事業プロデューサーを配置し、今後の成長が期待できる製品等の知財戦略や事業計画についてアドバイスを行い、３件の事業化を支援した。

・ヤザキ工業㈱（富士市）
ベビーカー用通風シート「air seat」の事業化

・やまと興業㈱（浜松市）
相手の声を聞き取りやすくする会話補助装置「聴こえ♪ルンです®」の事業化

・㈱クリエイティブ・コーティング（三島市）
新規セラミックコーティング「SR-600HD」の事業化

（5）外国出願支援事業

特許、実用新案、意匠、商標及び冒認対策商標を外国特許庁へ出願する中小企業に対し、出願手数料、代理人費用、翻訳費等の出願にかかる経費の一部を助成した。

（単位：千円）

特許	助成額	商標	助成額
6件	8,789	1件	435

2 地域ビジネス応援事業　　事業費　11,802,157円

地域の活性化を応援する目的で、県内の中小企業者、特定非営利活動法人が行う新たな事業の展開、新たな製品や役務の提供、新たな販路の開拓に積極的に取り組む事業を支援した。

（1）ＳＤＧｓ貢献企業支援事業

中小企業者及び特定非営利活動法人が取り組むＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）達成に向け、地域資源を活用した新商品や新サービスなどの開発、販路開拓等に積極的に取り組み、県内の地域課題を解決するための事業に対して助成した。

・補助率　2/3（限度額 2,000千円）

（単位：千円）

申請者	事業内容	補助事業の概要	助成額
FPKナカタケ㈱（焼津市）	家具等製造	日常使いできる避難所用間仕切り『どこでもく～も』の普及	2,000
シーラック㈱（焼津市）	食品製造	廃棄原料を有効活用した「日本一セレブなツナ缶詰」の商品化	1,733
㈱タイカ（静岡市）	曲面印刷装置	環境配慮型曲面加飾工法の開発	2,000
トライテック㈱（函南町）	解体工事	アタッチメント刃の耐久性の向上とセルフメンテナンス事業の構築	1,738
中根製茶㈱（掛川市）	緑茶加工販売	バイオマスティーバッグへの転換によるカーボンニュートラル貢献	2,000
	合計		9,471

（2）販売戦略構築支援型助成事業

産業財団が実施した販売戦略サポート委員会で受けた助言を具体化するため、中小企業が取り組む事業に助成金を交付した。

・補助率　2/3（限度額 500千円）

（単位：千円）

申請者	所在地	事業概要	助成額
㈱大洋アレスコ	焼津市	冷水革命 OMA Chiller の販路開拓のための WEB サイトリニューアル	390

（3）静岡県女性経営者団体支援事業

県内企業の女性経営者・女性管理者が活躍できる企業を支援する静岡県女性経営者団体「A・NE・GO（Assist Next Go）」の活動を支援した。

３ 成長型中小企業等研究開発支援事業　　事業費　20,460,463 円

経済産業省「令和４年度成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）」の事業管理機関となり、天間特殊製紙㈱と静岡大学との共同体が実施する研究開発を間接補助した。

（３年計画の１年目）

○研究テーマ

製紙技術を応用したミクロ微細化セルロース繊維によるガラス繊維強化樹脂代替材料の製造プロセスの研究開発

○初年度の実績

ミクロレベルに微細化したセルロース(MC)の繊維長及び配合率の検討、ポリプロピレン(PP)混錬時の材料選定や配合率の最適化を行ったところ、MC 繊維長の制御はセルロース繊維の微細化条件を検討することで、繊維長を任意の長さに調整することが可能となった。

また、MC/PP 複合ペレットにおいて繊維長及び MC 配合率が力学特性に与える影響について、その傾向を掴むことができた。

さらに、複合ペレットの性能を評価するために成形機や試験機等の必要設備の導入を完了し、社内において試験片作製からシャルピー衝撃強度測定での評価が可能となった。

公４　フーズ・ヘルスケア オープンイノベーションプロジェクト

事業費　155,779 千円（175,602 千円）

○ 食品関連産業の振興
○ 化粧品関連産業の振興
○ ヘルスケア関連産業の振興

静岡県が策定したフーズ・ヘルスケア オープンイノベーションプロジェクト第１次戦略計画に基づき「超高齢社会を踏まえた健康寿命の延伸」と「経済の持続的発展を目指した新しいビジネスモデルの創出」に対応するため、機能性表示食品や化粧品開発及びヘルスケアサービスの開発促進等を通じて、産業競争力の向上に努めた。

１ フーズ・ヘルスケア オープンイノベーションプロジェクト　　事業費　89,391,345 円

科学的根拠に基づく高付加価値の製品開発、成果品等の販路開拓、関連情報・成果の情報発信等により食品・化粧品産業の振興を図った。

（１）プロジェクト参画自治体との連携（静岡市、焼津市、藤枝市）

参画自治体や静岡県と連携して、商談会やセミナーを開催した。また、ホームページ及びメールマガジン等により関連情報や活動成果等を発信した。

○食品バイヤーとの商談会　※実績は１か月後調査による

開催日	場所	参加企業		マッチング	商談成立	サンプル送付	商談中
		バイヤー	申込事業				
R4. 8.24	焼津市	19 社	31 社	27 社 120 件	12 件	23 件	23 件
R4.10.28	静岡市	26 社	33 社	31 社 140 件	10 件	15 件	29 件
R5. 1.24	藤枝市	14 社	35 社	27 社 73 件	4 件	24 件	35 件

○セミナー、PR 活動

・商談の基礎セミナー（R4.7.5）　参加者 20 人
　バイヤーが気になる FCP シートの描き方、FCP シートを使った戦略的な情報整理
・2022 ふじえだ産業祭（R4.10.29～30）
　フードテックに関するアンケート実施　回答者 554 人

（２）コーディネーター、アドバイザーによるビジネスマッチング

○相談対応　（単位：件）

商品開発	工程改善	販路促進	情報提供	機能性支援	助成金支援	その他	計
227	8	1,187	2,522	658	306	595	5,503

○サイエンスアドバイザー、販路開拓アドバイザーの支援実績

・機能性素材成分分析及び活用
　GABA、エルゴチオネイン、リコピン、ケルセチンの計 69 検体 → データベース化を図った。
・産官学民金、各種クラスターとの連携促進
　AOI、MaOI、ChaOI、静岡市海洋産業クラスター協議会など、関連するプロジェクトへの支援（審査面での協力、企業支援）
・成果品等販売支援 延べ 237 件、57 社 209 品目（水産加工品、お菓子、スイーツ、飲料ほか）

（3）展示会出展　　（単位：千円）

展示会	開催場所	出展者数	商談実績		
			商談件数	成約件数	当初契約額
メイカングループ総合食品展示商談会	アクトシティ浜松（R4.7.9）	プロジェクト紹介を目的にセンターが出展			
産業振興フェア in いわた	アミューズ豊田（R4.11.11～12）	3社	1件	－	－
沖縄大交易会	沖縄コンベンションセンター（R4.11.24～25）	3社	23件	－	－
スーパーマーケットトレードショー	幕張メッセ（R5.2.15～17）	21社	1,718件	23件	10,071

（4）フードテック活用による事業化支援

・フードテックセミナー（R4.7.11）　参加者 92人
　講演1　地域におけるフードテックの活用～地域経済圏の構築～
　講演2　フードテックコミュニティの活動について
　講演3　冷凍駅弁の開発について
　講演4　菌が世界の食を救う 発酵SDGs
　講演5　食品ロスの削減 2030年へのミッション～静岡県との協業の可能性～
・企業ヒアリング（R4.8～9月）県内食品関連事業者へのヒアリング(10社)
・フードテック ワークショップ（R5.1.25/R5.3.13）　参加者　11社・団体
　テーマ　ローカルサプライチェーン構築と廃棄食材アップサイクル

（5）食の機能性に関するプラットフォーム構築

静岡県立大学と連携して、ヒト介入試験、システマティックレビューを支援した。

（単位：件、（ ）内はH27年度から累計）

相談	ヒト介入試験	システマティックレビュー	**機能性表示食品受理**
391（1,814）	3（15）	8（43）	**16（92）**

＜化粧品関連＞

新製品開発支援、相談対応、助成事業、ビジネスマッチングを推進した。

（1）化粧品等研究開発推進事業助成　　（単位：千円）

申請者	所在地	事業概要	助成額
ワオラボ㈱	磐田市	「食べられるほど安全な」遠州産特産物を原料とした基礎化粧品の開発	1,147

■ 過去3年間の事業実績（販売実績は、事業終了翌年度からの累計額）（単位：件、千円）

年度	助成件数	商品化件数	販売実績
R1	2	1	12,529
R2	3	1	11,113
R3	3	1	900

（2）セミナー開催

○コスメティックフォーラム静岡（R4.10.6、ホテルグランヒルズ静岡）

・専門家を招いて最新の化粧品産業の動向を紹介
・参加者 75人、展示 6社
・講演1　香粧品香料入門、講演2　天然緑茶アロマの開発とその可能性、
　講演3　ストレス社会における天然香料のニーズ

○化粧品スキルアップセミナー（R5.1.26、静岡市産学交流センター）

・化粧品産業に携わる方の人材育成、参加者 76人
・講演1　化粧品開発に関わる安全性試験や機能性評価試験の初歩的な話
　講演2　シンガポールの化粧品市場と輸出に関する留意点
　説明1　薬機法改正及び指導事例について
　説明2　フーズ・ヘルスケア オープンイノベーションセンターの紹介・取組

（3）化粧品 PR、展示会出展

○しずおかコスメマルシェ in エスパルスドリームプラザ（R4.8.20～21）

・一般消費者に対する静岡県産の化粧品ＰＲと即売

・参加企業　5 社、商品購入者　57 人

○化粧品開発展（R5.1.11～13、東京ビッグサイト）

・化粧品、化粧品素材、機械メーカーの販路開拓

・参加企業　6 社、商談件数 128 件、成約件数 11 件（当初成約額 126 千円）

○静岡県・浙江州（義烏市）化粧品ビジネス交流会（R5.2.17、県産業経済会館）

・静岡県・浙江州間の企業間交流及び両県・州の友好関係の促進

・参加者　義烏市行政関係 6 人、義烏市企業 11 社 14 人、県関係者 15 人

・説明１　静岡県化粧品産業の概要、説明２ 義烏市産業の紹介、義烏市化粧品産業の説明

・ブース展示　静岡県化粧品企業 6 社

（4）化粧品 OEM・ODM メーカーの受注支援

韓国化粧品企業との情報交換会	・開催日　R4.6.27～28 ・参加　韓国化粧品メーカーAN グループ 4 人 県内企業 18 社 23 人、県関係 12 人 ・個別商談 3 社、工場視察 2 社
OEM、ODM メーカー情報冊子作成	・30 社掲載、R4.7 月発行
DIET & BEAUTY FAIR 出展	・R4.9.26～28、ブース来場者 168 人 ・県内 OEM・ODM 企業の紹介、ビジネスマッチングを目的にセンターとして出展 ・名刺交換 168 人、OEM・ODM 受託企業情報冊子配布 91 社
OEM、ODM 受注拡大事業紹介	・コスメティックフォーラム（再掲） ・化粧品スキルアップセミナー（再掲）
静岡県・浙江省(義烏市)化粧品ビジネス交流会（再掲）	・R5.2.17、参加者 35 人

２　高付加価値型食品等開発推進事業　5,955,605 円

機能性食品などの高付加価値型食品等の事業化・製品化を目指す県内の食品関連企業等に対し、試作品開発・実証試験等への支援に取り組んだ。

（1）食品等開発助成事業

食品・化成品（食品素材を使用した場合のみ）において、機能性食品等の製品化に向けた試作品開発、機能性評価を行う事業に対して助成した。　（単位：千円）

申請者	所在地	事業概要	助成額
㈱すぷらうとくらぶ	静岡市	スルフォラファン高含有ブロッコリースプラウトの開発	1,057
酪農王国㈱	函南町	丹那牛乳のバターミルクを活用した菓子の試作開発	647
ダイトー水産㈱	焼津市	女性アスリート向け悩み解決型商品の開発及び検証	825
伊豆食文化公園㈱	伊豆市	農場から分離された乳酸桿菌と地産原料を用いた青汁の機能性評価の検討	1,070
合　計			3,599

■ 過去 3 年間の事業実績（販売実績は、事業終了翌年度からの累計額）（単位：件、千円）

年度	助成件数	商品化件数	販売実績
R1	5	1	416
R2	6	4	56,923
R3	6	4	16,684

（2）新事業創造研究会

オープンイノベーションの場を通じて、戦略計画に沿った各種テーマの商品開発に取り組む研究会の活動を支援した。

（単位：千円）

部会(開発テーマ)	参加企業	取組内容	助成額
戸田ﾀﾁﾊﾞﾅﾅﾌｨﾅﾝｼｪ製作部会（マーケットインの商品開発）	スプレッド企画 戸田森林組合	戸田タチバナを活用した商品づくりと、地域資源の拡散・認知	500
自然薯研究部会（健康に寄与する食品）	㈲丁子屋 なかじま自然薯園	自然薯の加工品・生鮮品の機能性食品表示に向けた調査	270
裾野産キヌア部会（地域資源の活用）	㈱Joule Plus ㈲三角屋水産 ㈲鈴木製袋	裾野産キヌアを原材料とした加工食品及びサポニン除去洗浄装置の開発	500
エージングシート活用部会（フードテック・発酵技術の活用）	㈱竹屋旅館 ㈱ふかくら	エージングシートを活用した熟成魚・熟成肉の試作・評価	87
合計			1,357

■ 過去3年間の事業実績（販売実績は、事業終了翌年度からの累計額）（単位：件、千円）

年度	助成件数	商品化件数	販売実績
R1	5	6	587,559
R2	8	6	37,096
R3	5	3	448

3 食品産業人材育成事業

事業費　2,720,000円

地域企業の新製品・サービスの開発を促進するため、食品加工技術や機能性食品素材、食品の安全性に関する知識などを総合的に身につけた中核人材を育成した。

○総合食品学講座

項目	内容
期間	令和4年7月28日～10月27日、全13日間
実施場所	静岡県立大学、静岡県工業技術研究所、静岡県産経会館
講座内容	A：食品の加工技術　(8講座) B：食品の安心・安全技術　(6講座) C：マーケティング・販売戦略　(6講座) D：実習　(5講座) E：グループ活動　(10時間)
受講者数	一括受講生 28人、個別受講生 92人 （個人終了認定者 25人、事業所終了認定 3社）

■ 本講座総合評価（一括受講生対象 回収人数25人）

満足	ほぼ満足	やや不満
18人（72%）	6人（24%）	1人（4%）

４ ヘルスケア産業振興事業　　事業費　48,396,359 円

ヘルスケアビジネスの事業化を支援して、心身の健康保持・増進、介護予防など健康寿命の延伸によるヘルスケアビジネスの創出につなげた。

（1）ヘルスケア産業事業化等支援事業

①プラットフォーム構築

産学官金のネットワーク構築と交流・ディスカッションを通じたオープンイノベーションを促進するフォーラム及びセミナーを開催した。

○ヘルスケアビジネスイノベーションセミナー（R4.5.20、静岡県産業経済会館）

・目的　ヘルスケアビジネス事業化に向けた企業の取組を促進
・参加者　75 人
・内容　　説明 1　ヘルスケアビジネス事業化促進助成事業
　　説明 2　静岡社会健康医学大学院大学における産学連携
　　講演 1　癒しの森事業の企業への効果とｴﾋﾞﾃﾞﾝｽｰ森林セラピーを中心としてー
　　講演 2　ResQ AI を活用したヘルスケアビジネス参入戦略
　　～ DX を自律型 AI で実現する SoLoMoN テクノロジー ～

○企業交流セミナー（R4.11.11、グランディエール ブケトーカイ）

・目的　企業間の交流の場を設け、オープンイノベーションのきっかけづくり及び健康に寄与する食品開発の支援
・参加者　62 人
・テーマ　健康に良い間食「おやつ OYATSU」とは
・内容　　講演　健康増進につながる静岡発“おいしいおやつ”の可能性
　　展示　機能性おやつに活用可能な素材の展示 5 社

○フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションフォーラム（R5.3.14、グランディエール ブケトーカイ）

・目的　製品・サービス開発のヒントとなるシーズの提供及び令和 4 年度活動報告
・参加者　115 人
・内容　　報告　令和 4 年度フーズセンター活動報告
　　講演　食によるヘルスケア産業創出と研究成果の社会実装
　　発表 1　SDGs に寄与する食材粉末化技術とその活用
　　発表 2　静岡県産食材の機能性成分分析の結果とその活用について
　　発表 3　微生物を用いた飲料抽出残渣からのﾌｧｲﾝｹﾐｶﾙの発酵生産技術の開発
　　展示　シーズ展示及び令和 4 年度助成事業成果展示 8 社

○ヘルスケアビジネス勉強会＆相談会（R4.3.23、袋井新産業会館キラットあきはホール）

・目的　ヘルスケアビジネスの事業化促進
・参加者　53 人
・内容　　講演　ヘルスケアビジネスの事業化ポイント
　　相談会　講師による個別アドバイス 4 社

（2）リビングラボの活用

リビングラボを設けて、企業の事業活動を支援した。

※リビングラボとは、Living（生活空間）と Lab（実験室）を組み合わせた言葉。商品開発の場を日常の生活空間の近くに置き、生活者視点に立った新しいサービスや商品を生み出す手法のこと。

企業名	期間	内容
㈱創生	R4.8.28,12.3	認知症早期発見テストの実施
㈲スプレッド企画	R4.9.27	沼津の手土産用菓子の意見聴取
㈱SHOUJI	R4.11.29～12.1	健康・未病産業展での試作品に対するアンケート
㈱KAWANE ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ	R4.4～9 月	メンタルヘルスツーリズム利用者アンケート
㈲スプレッド企画	R5.1.23	試作品に対する意見聴取
㈲石井育種場	R4.12.18 R5.2.9	首都圏消費者アンケート（東京都青山） ケール商品の消費者モニタリング（みなくる）

（3）販路の開拓

（単位：千円）

展示会	開催場所	出展者数	商談実績		
			商談件数	成約件数	当初契約額
ウェルネスフード EXPO	東京ビッグサイト (R4.7.27～29)	7社	57件	7件	578
通販食品展示商談会	東京交通会館 (R4.11.1～2)	10社	118件	1件	15
健康博覧会	東京ビッグサイト (R4.5.2.8～10)	3社	28件	1件	200
通販食品展示商談会（大阪）	南港ATCホール (R5.2.21～22)	3社	―	―	―

○首都圏でのテストマーケティング

事業概要	委託業者に委託して県内食品を東京駅構内の店舗でテスト販売し、商品のテストマーケティングを実施（商品のブラッシュアップ）
実施場所	ニッコリーナエキュート東京店（東京駅構内）
実施期間	R4年8月～5年2月
参加社数	新規21社28品、継続5社8品
売上実績	981点、467,502円（昨年度 762点、434,129円）

（4）海外販路開拓・ヘルスケアビジネス事業化支援

加工食品の海外向け商品開発や海外販路開拓・拡大及び新たなヘルスケアサービスや製品の事業化のために行う可能性調査又は実証に対して助成した。

○加工食品輸出スタートアップ支援事業助成金

（単位：千円）

申請者	所在地	事業概要	助成額
㈱日清煉乳	函南町	個包装加糖煉乳「ここだけ練乳」と18Lブリキ缶「加糖煉乳」の輸出計画	1,294
㈱カネス製茶	島田市	オールナチュラル製法にて、有機 GABA 茶の開発と海外への提案	418
合　計			1,712

○ヘルスケアビジネス事業化促進助成金

（単位：千円）

申請者	所在地	事業概要	助成額
㈱天神屋	静岡市	健康寿命延伸のための「配食リモデルによる栄養管理モデル作り」	3,215
㈱white from green	富士市	バナナ由来レジスタントスターチによる国民の健康増進貢献事業（機能性表示取得）	3,919
㈱KAWANE ホールディングス	川根本町	「心・脳・体」をリフレッシュするヘルスケアサービス事業	522
日研フード㈱	袋井市	心と身体の健康維持に繋がる美味しい機能性インスタント飲料でウェルネスを体感できる仕組み作り検討	1,442
フジ日本精糖㈱	静岡市	ヒト糞便培養技術を用いたイヌリン及びSynbioticsの腸内細菌叢やその代謝産物への効果の検証	2,000
㈱創生	浜松市	健常な高齢者を対象に、軽微な脳機能変化の数値を手掛かりに生活習慣の改善活動を促し、認知症の進行抑制を図るヘルスケアビジネスの事業化可能性調査	1,563
㈱SHOUJI	函南町	手軽に継続できる健康維持に寄与する菊芋を使ったスープの事業化可能性調査	1,705
㈲石井育種場	静岡市	野菜摂取量の増加に繋がる冷凍カットケールの事業化可能性調査	1,640
合　計			16,006

○ その他の事項

静岡県信用保証協会との連携

産業財団は、平成 30 年 8 月 1 日、県信用保証協会との間で「中小企業への相互連携による伴走支援に関する覚書」を締結し、相互に協力して中小企業に対して伴走支援を実施することとした。

（令和 4 年度の活動内容）

・中小企業支援連絡会議（令和 4 年 5 月 16 日）を開催し、連携推進に関する協議及び情報交換を行った。（オブザーバー：静岡県）
・産業財団に資金相談があった創業（予定）者に対し、有利な融資制度「開業パワーアップ支援資金（開業パワーアップ S)」を紹介した。
・信用保証協会の支援先 8 社に対し、取引・販路開拓支援を行った。